

第3回 平成22年7月梅雨前線豪雨内水対策検討会 議事要旨

日時

平成22年12月27日（月）10:00～12:00

場所

太田川河川事務所3階会議室

出席者

広島県土木局土木整備部 泉谷河川課長
広島県西部建設事務所 吉原次長
広島市道路交通局 菅原河川課長
広島市下水道局 計画調整課 山口計画担当課長
広島市消防局危機管理部 斉藤防災課長
太田川河川事務所 阿部事務所長

議事

- (1) 内水対策の方向性について
- (2) その他

議事要旨

<内水対策の方向性について>

- ・ 矢口川及び新安川における、短・中・長期別の内水対策（案）を提示した。
- ・ 矢口川流域においては、既設の排水機能4 m³/sに加え、現状で不足する約8 m³/sの内水対策が必要なことを確認した。
- ・ 新安川流域においては、既設の排水機能6.48 m³/sに加え、現状で不足する約6.5 m³/sの排水機能の増強と同等以上の内水対策が必要なことを確認した。
- ・ これに対し、矢口川流域及び新安川流域において、排水機能の増強をはじめ、同等の機能を発揮できる対策メニューについて、各機関で検討を進めることを確認した。
- ・ 今後は、各機関において検討された具体的な対策メニューについて、国・県・市の三者で協議・調整し、三者の役割分担について議論することを確認した。

<その他>

- ・ 今後、WG及び検討会で議論を重ね、平成22年度内に具体的な対策メニューを提示し、事業の役割分担を明確にする。